

令和3年度 学校評価

1 学校運営の目標・方針

「自律」「協同」「創造」の精神を培い、自らの将来に向かって果敢に挑戦し、社会に貢献できる人材を育成する。
 ○生涯を通じて学ぶ楽しさと学び続ける意欲・能力を育成する。
 ○基礎・基本を確実に定着させ、社会の変化に対応し、「生きる力」を育む。
 ○生命を尊重する心、他を思いやる心など、心身を鍛える態度を育成し、調和のとれた人格形成を目指す。

4 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

・生徒評価、保護者評価、教員評価のそれぞれの評価を見ることができるようになっており、問題点と改善点が表れておりわかりやすい。
 ・生徒・保護者・教員の3者に対して、学校評価アンケートを実施しており、保護者・教員の回答数も昨年度と比べ多くなっていることから、実施方法は適切であったと考える。

【生徒・保護者・教員】

A: 5.0～4.2
 B: 4.1～3.3
 C: 3.2～2.4
 D: 2.3～0

2 本年度の重点目標

○生徒、教職員が一致協力して、その基盤である校訓の具現化を図り、あらゆる教育活動を通じて活力ある校風づくりをめざす。
 ○自己の在り方生き方について考えさせ、職業選択に必要な能力と態度を養うとともに、社会人として必要なコミュニケーション能力や課題解決能力等を育成するためのキャリア教育を推進する。
 ○生命と人権を大切に、他者を尊重するとともに、異なる文化や価値観を理解し、多様な人々と共に生きる心を育てる教育を推進する。また、基本的なルールを遵守し、役割や責任をもってよりよい社会づくりに向けて主体的に行動する力を育成する。
 ○保護者や地域社会と一層の連携を図り、地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりを推進する。
 ○教職員が使命感を持ち、資質向上を図るため、体系的・組織的な研修を推進する。また、全教職員が協力して教育活動に取り組むことのできる体制の構築をめざす。
 ○教職員が心身ともに健康で、生徒と向き合う時間をしっかり確保し、教育活動をさらに充実させるために業務改善及び勤務時間の適正化に取り組む。

5 総合的な学校関係者評価

・講習、補習、個別指導の生徒・保護者の評価が低く、改善策を履行してほしい。
 ・本校の特色、総合学習を深めてほしい。
 ・昨年度に続いて、今年度もコロナの影響で教育活動が予定通り実施するのが難しい中、生徒・教員・保護者の3者がよく頑張られていることが読み取れる。
 ・生徒評価の変化はあまりなく、保護者評価で、「職業観・勤労観が身についた(No.13)」が好評評価されている所がよいと思います。少し気になるのは、教員評価で、「コロナ感染予防への取組(No.23)」が昨年と比べて下がっている点である。当分の間、コロナ対策は続くと思いますので、再度、気を引き締める必要がある。
 ・教科指導や人権について、特に保護者と先生方との間に認識の差が大きい項目について、単に学校の取組の周知が足りないのか、それとも知っていてもお足りないかと判断されているのか、精査して対応してほしい。

【総合評価】

A: 5.0～4.0
 B: 3.9～3.5
 C: 3.4～3.0
 D: 2.9～0

3 学校自己評価結果 (A 優れている B 良い C おおむね良好 D 要改善)

観点	No.	質問項目	生徒評価	保護者評価	教員評価	総合評価	担当	評価	改善策など
学校生活	1	本校の校訓を知っている。	3.9	B	3.5	B	総務	新入生には校歌の歌詞とともに説明する機会は少しあったが、全学年とも目にするチャンスが少ないため記憶に残りにくいかもしれない。	始業式、終業式が放送の場合でも、歌っている校歌の音楽を流すことで、歌詞の中から校訓の定着を図る。
	2	学校に来るのが楽しい。	3.9	B	4.1	B	年次	[1年]全体的に学校に登校するのが楽しいように感じるが、転学希望(転学済み)の生徒がいる。 [2年]縮小したが、修学旅行が実施できたことは良かった。行事を通して、少しずつ自覚を持った言動ができつつある。 [3年]行事の自粛や縮小が続く中、遠足や球技大会などを行うことができた。	[1年]生徒面談、保護者面談や日常の会話の中で生徒とのコミュニケーションをとっているが、いろいろなケースがあり、対処療法的対応している。 [2年]3年に向けて、日々の授業を大切にしている意識をもち、将来の目標を明確にしていってほしい。行事に主体性をもって取り組めるように工夫する。 [3年]今年度は3年次以外の先生方の理解もあり、行事等で臨機応変に対応することができた。また、生活に悩みの抱える生徒に対応できるように年次の教員で協力していきたい。
	3	学校での出来事を家庭でよく話をする。	3.8	B	4.0	B	年次	[1年]実際のところは不明である。 [2年]家でよく話す生徒が多い印象であるが、経済状況や家庭環境から親子の不和も生まれている家庭も見られる。 [3年]進路に関しての話題が多くなったと思うが、家庭でしっかり話している生徒が多い印象である。	[1年](現在までに年次通信を8号発行し、学校での行事や内容を連絡し、親子のコミュニケーションに役立てようとしている。 [2年]面談、電話連絡を密にして情報共有をしっかりとっていく。 [3年]年次通信で学校の様子を取り上げて話題を提供する。
	4	年次通信、PTA広報誌など学校からの配布物を保護者に渡している。	3.8	B	3.7	B	年次	[1年]実際のところは不明である。 [2年]配布物の重要性と意味を伝え、保護者に渡すように指導している。 [3年]学期ごとに年次通信を発行した。	[1年]ロングホームルームの時間で配布して配りつばなしにならないよう、担任が一言付けてもらうようにしている。 [2年]年次通信・保護者会等での行事や進路情報の重要性を更に伝える。 [3年]行事ごとに生徒の活躍の様子をのせる。
教科指導	5	学校はわかりやすい授業を行っており、基礎学力が定着してきた。	3.5	B	3.3	B	教務	(教務)教員と生徒・保護者との間で大きな認識の違いがみられる。	(教務)可能な限り、授業を公開するなどの機会を設定し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善につなげ、内容を充実させる。
	6	家庭学習の時間が昨年より増えている。 (H29家庭学習を2時間以上確保できている)	3.5	B	3.4	B	教務年次	(教務)生徒の学習習慣の確立とともに、意識付けと興味関心への関連付けが必要である。 [1年]生徒による意識・目標の差が大きい。 [2年]生徒による意識・目標の差が大きい。 [3年]3年次になり、積極的に学習に取り組む姿が多く見られた。年次進路から定期的に進路通信を発行した。	(教務)授業と家庭学習のリンク、授業の始め方や終わり方を工夫するなどの授業改善を推進する。 [1年]具体的にどの学習が必要なのか明確に理解させたい。また、生徒自身がお互い進路に対する意識を高め合える環境をつくりたい。 [2年]具体的にどの学習が必要なのか明確に理解させたい。また、生徒自身がお互い進路に対する意識を高め合える環境をつくりたい。 [3年]さすがに、受験を前にして家庭学習の時間は増えている。進路先が決まった後も、授業に対してまじめに取り組む生徒が多かったのは良かった。
	7	学習意欲が高まっている。	3.5	B	3.5	B	教務年次	(教務)教員と生徒・保護者との間で大きな認識の差がみられる。 [1年]週2回、国英の小テスト、夏休み補習を実施している。また国・地歴で放課後補習を行っている。 [2年]週2回、国英の小テスト、夏休み補習を実施している。また国・地歴で放課後補習を行っている。 [3年]長期休みの講習や個別指導、自習室利用などを行った。外部の塾を利用している生徒も多い。	(教務)講習・補習に関して、生徒の進路目標や興味・関心に応じた設定ができているか常に検討していく。 [1年]3年次の入試に向けて、自分に合った学習スタイルと自学自習の習慣を確立させたい。 [2年]3年次の入試に向けて、自分に合った学習スタイルと自学自習の習慣を確立させたい。 [3年]スタサブの利用を検討する。また、自分で学習計画を立て独習できる力も養うことが必要である。
	8	講習・補習・個別指導などを積極的に受けている。	2.9	C	3.0	C	教務年次	(教務)教員と生徒・保護者との間で大きな認識の差がみられる。 [1年]週2回、国英の小テスト、夏休み補習を実施している。また国・地歴で放課後補習を行っている。 [2年]週2回、国英の小テスト、夏休み補習を実施している。また国・地歴で放課後補習を行っている。 [3年]長期休みの講習や個別指導、自習室利用などを行った。外部の塾を利用している生徒も多い。	(教務)講習・補習に関して、生徒の進路目標や興味・関心に応じた設定ができているか常に検討していく。 [1年]3年次の入試に向けて、自分に合った学習スタイルと自学自習の習慣を確立させたい。 [2年]3年次の入試に向けて、自分に合った学習スタイルと自学自習の習慣を確立させたい。 [3年]スタサブの利用を検討する。また、自分で学習計画を立て独習できる力も養うことが必要である。
	9	部活動と家庭学習の両立ができている。	3.5	B	3.6	B	生指年次	(生指)部活動に対する制限・自粛期間などもあり、時間的には余裕はあったはずである。	(生指)いきいき運動部活動の推進もあり、時間的には余裕はあるはず。家庭学習時間の確保・増加のため、各教科での課題をさらに検討していく。

進路指導	10	多様な選択科目の中から自分の進路・適性に応じたものが選択できている。	4.0	B	4.0	B	4.0	B	B	教務	(教務)多くの科目が設置され、多様な選択ができることが、肯定的に捉えられている。	(教務)新学習指導要領の導入も始まることから、生徒の進路目標、興味・関心や時代の変化に対応した科目が設置できているか、常に検討していく。
	11	進路に関する適切な情報が提供されている。	3.9	B	3.6	B	3.6	B	B	進路	進路多様校において、多様な生徒とその進路希望に個別対応している。	進路指導室来訪生徒には丁寧に対応できているが、生徒集団全体へのアナウンスも有効に実施する。
	12	模擬試験等を継続的に受け、事後の学習に生かしている。	3.4	B	3.4	B	3.9	B	B	進路年次	(進路)各教科担任が授業内に適宜指導している。 [1年]3回の実力考査を実施。成績は別として試験に一生懸命取り組んでいる。 [2年]学期ごとに模試を実施。職業・志望校研究などの進路HRも充実させ、模試の重要性は伝えている。 [3年]各々の進路に応じて受けた。	(進路)事後指導はもとより、事前指導のため、進路指導室内の資料活用を促す。 [1年]2年次より順位、偏差値、判定が出るので、進学への意識付けと、jy件について理解させる [2年]個別指導や授業を通じて、模試に対する意識を高める。 [3年]受験後の自己採点と復習を必ずするように指示を出す。
	13	進路校外学習などを通して、職業観・勤労観が身に付いた。	3.7	B	3.5	B	4.0	B	B	推進	(推進)今年度、4～5月に緊急事態宣言が出ていたこともあり、7月の校外学習は校内での実施に切り替え計画を行った。2年次は10月に進路校外学習で近隣の大学を訪問、1年次は、総合校外学習として県内の大学や近隣の企業を訪問し探究学習を行うなかで、職業観・勤労観を得る機会を設けた。	(推進)今年度の校外学習も昨年度に引き続いて、実施が難しかった。7月は大雨警報のため、実施することはかなわなかったが2年次の特別講義では新規開拓した団体もあるため、来年度以降の訪問先として検討していきたい。
生徒の自主性	14	「産業社会と人間」「総合学習」「課題研究」など生き方について考える機会が多い。	3.9	B	3.5	B	4.2	A	B	推進	(推進)概ね良好であるが、総合三科目の学びは、総合学科の教育課程において根幹となるものであるため、より主体的な学びの機会となる必要がある。	(推進)総合三科目のねらいや本質について教師自身も十分に理解し、共通認識を持って授業の指導に当たることが大切である。また、総合三科目の授業の様子や取り組んだ生徒の声を保護者に伝えるために、学校通信やブログ等で積極的に発信する必要がある。
	15	総合学科での学習を通して、課題設定や課題解決の能力が伸長した。(H29「総合学習」や「課題研究」を通して、課題設定や課題解決の能力が伸長した。)	3.7	B	3.3	B	4.0	B	B	推進	(推進)1・2年次はグループで、3年次は個人で課題解決型の学習に取り組んでいる。年次が進むにつれ着実に力がついていると考えるが、生徒たちがより積極的に取り組むよう支援が必要である。	(推進)各教科においても、それぞれの授業の中で、生徒に課題解決の成功体験を積み重ねさせる工夫をしていく必要がある。
	16	生徒会活動やホームルーム活動では主体的に活動している。	3.5	B	3.1	C	3.8	B	B	生指	(生指)行事などの変更、縮小などにより活動に制限を受けた。	(生指)文化祭や体育大会など、保護者の鑑賞、観戦を通して、主体的に活動する姿を見てもらう。
生活習慣	17	体育大会等の行事に積極的に取り組んでいる。	4.0	B	3.9	B	4.0	B	B	生指	(生指)保護者の観戦なしが残念であった。	(生指)コロナ感染対策のため、種目等に制限を受けたが、できる限り生徒の意見も取り入れていく。
	18	集会などを通して、学校や学年の生徒指導方針がよく説明されている。	3.8	B	3.3	B	4.0	B	B	生指	(生指)保護者会など、説明の機会が少なかった。	(生指)校則に対する説明の機会を増やす。
人権	19	挨拶・時間厳守・携帯電話の使い方などの基本的な生活習慣が身に付いている。	4.2	A	3.7	B	4.1	B	B	生指	(生指)保護者の来校の機会がほとんどなく、実感しにくい状況があった。	(生指)生徒会など通して、呼びかけていく。
	20	保健室・教育相談室など、悩み事を相談できる体制が整っている。または、親身になって相談に乗ってくれる先生がいる。	3.6	B	3.2	C	4.2	A	B	保健	(保健)ほけんだよりやカウンセリングの案内を発行し教育相談体制について発信してきたが、家庭まで周知されていない可能性がある。	(保健)生徒が悩み等を気軽に相談できる教育相談体制の整備に努め、カウンセリングマインド研修で教員の生徒理解を高められるよう工夫していきたい。
	21	いじめのない学校づくりが進められている。	4.1	B	3.0	C	4.3	A	B	生指	(生指)いじめアンケートの持ち帰り記入を実施しているが、アンケートの有無を保護者は知らない可能性が高い。	(生指)生徒への聞き取りにとどめず、積極的に家庭と連携をとって、未然防止・早期発見・指導に努めたい。
新型コロナ対策	22	色々の授業や行事を通じて、命と人権を大切に教育が行われている。	4.2	A	3.2	C	3.7	B	B	人権	(図書人権)「男女共生社会について考える」という年間テーマで、7/15(木)に「82年生まれキムジョン」、11/11(木)濱田格子さん(NPO法人子どもの未来尼崎)に「SDGsジェンダー平等社会について一緒に考えよう」という演題で講演していただいた。コロナ禍でPTAとの連絡や案内ができなかったが、西人教への参加も含めて、PTAとの連絡を密にしておくべきだと考える。	(図書人権)教材や指導方法について事前検討会を持ち、指導しやすいように修正などを協議し合えたことは大きな前進だと考える。そのためには、早期に計画を立てることが重要である。講演会については、実際に講演などを聞いた人から選定することが望ましい。また、校外研修会の適度に活用するため、随時紹介していく。西人協についてPTAとの連携が重要である。
	23	新型コロナウイルス感染症対策等について、マスク着用やうがい手洗い消毒など感染予防に取り組んでいる。	4.5	A	4.0	B	4.0	B	B	保健	(保健)毎日の検温に加え、マスクの着用や手洗い消毒などを生徒一人一人に徹底させるよう指示をし、授業内では常時換気をお願いした。	(保健)日々の生活では感染症対策が定着しているが、今後行事などが移動する場面などでも感染対策を徹底できるよう努めていきたい。